

“ステキな医療や福祉”をお伝えしていきます。

# nicochanism

ニコチャニズム



認定NPO法人ニコちゃんの会



*talk session 3*

ママさんたちが語る

こんな場所が  
アッタライイナ。

ママさんたちが語る  
こんな場所が  
アッタライイナ。



ケアコミュニティハウスにはどんなことが必要なんですか？  
どんなに重い病気や障がいがあっても安心して楽しく過ごせる場所ってどんな場所でしょうか？  
今回は障がいのあるお子さんのママによるママトークです。  
井戸端会議の中にはケアコミュニティハウスのヒントがたくさん隠れています。  
どんな「アッタライイナ」がでてくるでしょう!?

森山 今回は、ママトークという名の井戸端会議の場を設けさせていただきました。いろいろと積もる話もあると思うけれども、はじめは皆さんがどんな生活を送ってきたのかをお伺いしてもいいですか？

田邊 うちは11歳の女の子と3歳の男の子がいるんですが、上の子が人工呼吸器をつけていて、1歳までは病院のNICU(新生児集中治療室)で、そこから2年間母子入院しました。

皆 えー!?

森山 ほほ病棟に住んでるよね(笑)。

田邊 今では考えられないけど、10年前は長い入院がそんなに不思議な時代ではなかったので他にも長く入院されている方もいらっしゃいましたね。

森山 2年もいたら病室に家財がどんどん増えていくよね。

田邊 お父さんは、仕事が終わったら必ず病室によって夜10時になったら帰るみたいな生活でした。

森山 たし君はどんな感じでした？

梶原 うちは、2歳になる男の子と二人暮らしなんですけど、病院で生まれてから9カ月で退院しました。自宅での生活はようやく1年くらいですね。

森山 みんな、お子さんが常に誰かがそばにいないといけない状況ではあると思いますが、今はみんなどんな生活を送っているのかな？

澤津 うちは8歳のこの子とお父さんと三人暮らしです。毎日、特別支援学校に通っているので、訪問看護師さんは週に1回、体調確

毎日の暮らしがどうですか？



拝啓

残暑の候、皆様にはごきげんうるわしくお過ごしのことと存じます。

当団体も今年度で5期目を迎えることとなりました。昨年度はイベント尽くしの1年となりました。昨年の事業報告でもご連絡いたしました。6月に念願の演劇を公演することができました。今年10月には横浜、大阪公演の予定です。早速稽古の日々でございます。また、ケアコミュニティハウスもようやく具体的に動き始めることができました。目的やコンセプトを精査し、よりよいものが出来るようしっかりと考えてまいります。所存です。

これからもご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

認定NPO法人ニコちゃんの会

代表理事 森山 淳子

- 01 ごあいさつ・もくじ
- 02 talk session3  
ママさんたちが語る  
こんな場所がアッタライイナ。
- 08 進行中のプロジェクト
- 09 ジギョウイチラン  
平成27年度事業一覧
- 14 ご支援のお願い

認の部分だけお願いしています。以前、お風呂のお手伝いとかお願いしたことがあったんやけど、なかなか慣れなくて…。あとは、通所のリハビリや訪問リハビリを利用しています。

**田邊** うちは今けっこうがつつりですよ。朝8時半から…

**澤津** そんなに早い時間があるの？

**田邊** 下の子が保育園に行き始めたので私が送りに出ていく1時間、訪問看護師さんに来てもらってます。それから私が帰ってきたらまた違う訪問看護師さんが来てくれますよ。

**澤津** その訪問看護師さんがずっといてくれるんですか？

**田邊** 1時間とか1時間半で、それが終わったたら学校があるんです。うちは通学できないので先生が家に来てくれてるんです。それが終わったらお昼ごろにお風呂とか清拭とかがあって、お風呂のときはヘルパーさんも来てくれるんです。そして、夕方下の子を迎えに行くのでその間また訪問看護師さんが来てくれるんです。

**澤津** じゃあ一日にたくさん来てくれるんですね。



田邊さん  
あやねちゃん(10歳)  
そうちゃん(3歳)



うっていう恐怖があるよね。今は、もとも重度の子を受け入れていた大きな病院でも制限が厳しくなっていたりするみたい。

**澤津** そうなの？ええ！

**田邊** うちもほとんど家から出ることがなくて、ずっと家で一緒にいるから、出産で私が入院したときは娘を家族やいろんな方が全力でサポートしてくれました。離れるのは涙が出るくらい悲しかったです。でも去年と一昨年にニコちゃんのセカンドホームプロジェクトであやねに外泊してもらったときは、いつも関わってくれているニコちゃんと、10年くらいお世話になっている訪問看護師さんたちが一緒だったので安心してお任せできました。人工呼吸器がついている子があずかってくれるところであればどこでも良いってわけではなく…

**梶原** 誰でもどこでもいっていいわけにはいかないですよね(笑)。

**田邊** あやねが生まれたころは人工呼吸器をつけた子が退院して家で暮らすのはあまり主流じゃなくて、家での生活が始まってからあやねを誰かにあずけないといけないことがあるなんて、あんまり考えなかつたんですよ。今まで急にあずける事が何もなくあったから良かったけど。

**澤津** 計画的なことならばどうにかなるかもしれないけど、急なこと、例えば親の事故とか病気とか何かあったらやっぱり泊まれる場所が必要ですよ。

**梶原** 今は病院は早く退院しておうちで

**田邊** そうですね。一日に2つの会社の訪問看護師さんは来れないんですが、子どもの病気が指定難病に認定され、使えるようになったサービスを使っています。以前は娘のお風呂も私がしてたんですが、腰が痛くて…。看護師さんとヘルパーさんに週3回お願いして、他の日は看護師さんに清拭をお願いしています。

**梶原** うちも訪問看護師さん週7回と訪問ヘルパーさん週2回で入ってもらってます。お風呂の介助もお願いしてるけど関わる事業所が複数になると人の入れ替わりも多くなって…その都度説明するのがおつくな時は自分でお風呂に入れたり…私がやり易いようにさせてもらってますよ。

**澤津** そうなんです。けっこうみんな訪問サービスを利用してるんですね。

**田邊** 最初はうちも今みたいにお願いしなかつたんですが、下の子の出産となるとそうはいかなくなりました。出産を

きつかけにたくさんお願いするようになりましたよ。出産でしばらく病院に入院する間に、この子を見てくれる人がいないと困りますから…

**森山** やっぱリビのおうちもいろいろ試行錯誤してるね。

**澤津** そうよね。それにこの子たちはほとんど大きくなっていくのに、私たちはほとんど年をとって衰えていくんだからね！

**あずかってくれるとこってなかなかないですよね…**

**森山** 日々の生活の中でどうにかしてほしいって思うところはありますか？

**澤津** なかなか人工呼吸器を使っている子をあずかってくれるところが増えてくれないところかな。でも、この子をあずかってくれるところがあるんです。わざわざこの子をあずかる場所をつくるために会社立ち上げてくれて。



生活することを推奨しているみたいだから、けっこう大変みたいですよ。

**田邊** 普段、24時間を自分と主人が交代で看ているので、セカンドホームプロジェクトでお泊りしたときは初めて時計とか、(子どものケアの時間を教える)アラームがない生活を送ることができて、夜遅くまで遊んでしまいました。まあ、結局10年も続いた日常なので目覚まし時計を消しても朝の4時にはいつも通り、目が覚めちゃったんですけど(笑)。

**澤津** わかるわかる！子どもは、お泊りに行ってないんだけどね。



澤津さん  
くるみちゃん(8歳)  
お父さん



梶原さん  
たいしくん(2歳)



**森山** じゃあくるちゃんは今安心して行けるし楽しいんやね。あやねちゃんは通所に行ってる？

**田邊** 行ってますね。下の子を妊娠したことが分かってから月に2、3回お願いするようになりました。今まではこの子が自分と離れて家から出ていくなかってまっただけだったので、ちょっとでもあずかってくれるところがあつたら助かりますね。

**森山** たいし君は通園週1回よね。まだ、通園デビューしたばかりで自分の子に人にあずけるなんて考えられんやろうけど、朝から夕方まであずかってくれる場所があつても夜間のあずかりというかつまり泊まることのできる場所っていうのは全国的にみても少ないよね。

**梶原** そうなんです。そんなにないものなんですか？

**澤津** 日中にあずかってくれるところはあつても泊まるってなると…ないですね。

**森山** もし自分たちが病気で入院でもしたらこの子は一人ぼっちになってしま

**本人も家族もみんな安心して楽しく過ごせる時間をつくりたいんです！**

**森山** ニコちゃん考えているケアコミュニティハウスって来ている人たちも楽しくて、離れている家族はその家族の楽しみ方をするっていうのが私たちの考え方のよ。セカンドホームプロジェクトはその大事な部分になる「宿泊」を実際にやってみたの。

**田邊** セカンドホームプロジェクトには2回お世話になったんですが、1年目は、あやねがそのとき仮面ライダーにハマってて、着いて早々大きなスクリーンにプロジェクトで投影して見せてもらったんですよ。ほんとにひと夏の思い出っていうか。普通の子がお泊りに行くような感じだったなって思います。

**梶原** 人工呼吸器をつけていたり、重い障がいのあるひとが泊まれるところが少ないのって、運営の基準が厳しいのが原因ですか？

**森山** 基準もあるやろうけど、症状が重たいとやっぱり難しいみたいよね。スタッフもたくさん必要になるし、命のリスクも高くなる。泊まれるところもあるけど、マンツーマンじゃないのよね。

**澤津** そうですよ。アラームが鳴らないと気づかれないのは…ね。できればアラームが鳴る前に体調の微妙な変化に気づいて対処してほしいし、アラームが鳴らなくても体調が悪いときはあるからね。

**森山** アラームが鳴る前に対処すること



**澤津** うちは今年は学校の大きなプールには入ってないな。足だけしか入ってないね。  
**森山** くるちゃんはアイスショーとか行ってなかったっけ？  
**澤津** 行ってますね。  
**森山** このおちはいろいろ行ってるんですよ。  
**梶原** うちもいろいろ経験はさせたいですね。音が好きなのにぎやかな野球とか連れて行ったらいいかなって。トランペットの音とかあるから。  
**森山** 今度行こうよ！いろんな音がするからね、きつと喜ぶっていうか驚くかも(笑)。  
**澤津** うちもよく野球行くんですけど、アレが怖いんですよ。前もってチケットとらないといけないでしょ？車椅子席をとるんだけど、その日に体調がいろいろ保証はないじゃないですか。こない

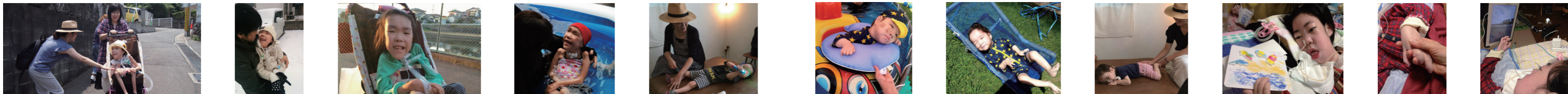
でこの子たちの健康は保たれているわけじゃない？だから私たちはマンツーマンで、必ず誰かがその子と一緒にいる状況をつくりたいと思ってるの。だから最大でも泊まれるのは5人くらいと思ってる、たぶんそれくらいじゃないと目が行き届かないと思うのよ。  
**田邊** 一番良いのは母と子が家にいるのと同じようにマンツーマンでってことですよな。  
**森山** そう！まさにそう！もうひとつの家みたいな感じ！だから必ずその子の24時間のあたり前の時間の過ごし方を把握して、それに沿って過ごしてもらおう！と思ってるの。その中で、好きなこととして遊んだり、とか！  
**田邊** 終わってからは知ったんですけど、セカンドホームプロジェクトってかなり細かく計画を立ててくださっていたみたいんですけど、そんなことが知らないうちにさらっと流れて行きましたね。  
**森山** もちろんですよ！綿密な計画を訪問看護師さんと立てましたからね(笑)。  
**田邊** たぶん、うちよりも快適だったと思います(笑)。  
**森山** せめて年に1度でもいいからそういう時間が親子共に必要なんじゃないかって思うよ。まだたいし君は2歳やけん先の話かもしれないけど、親子で来て、子どもは遊んで、親はビールでも飲んでってこともできるかな？とか(笑)。自分たちも体は衰えていく一方だし、冗談じゃなく、自分がいつ救急車で運ばれるかを心配せないかんくなっていくからね。そう

**非日常の時間はとても大切！**

いう時に頼れるところがないとね。たいし君のところはシングル家庭なのでもしお母さんに何かあったら…って思うよね。  
**梶原** そうですよ。うちの子でも泊まれるところがあったらいいですよな。  
**森山** ほんとはそんな場所がいくつかあるといいよね。  
**田邊** 選べたらうれしいですね。  
**森山** こっちが満員だったらあっちにしてみたりとか。3、4つくらいいいのであると助かるよね。

**森山** 前、くるちゃんママから登山をしたって聞いたんだけど、そういうのも大事よね。  
**澤津** 登山したいってこの子が2歳の時から言ってるんですよ、私。  
**森山** 富士山とか？  
**澤津** 富士山はムリ！この子がムリって言うより、私がムリ！(笑)  
**森山** もう少し小さい山やね。これまで日常的な部分の話を聞いたけど、ケアコミュニティハウスプロジェクトは、日常的な部分として普段のくらしを安心して過ごすこと、それ以外の特別な時間の非日常の楽しい時間も充実！両方あってこそよね！って思ってるんだよね。  
**梶原** うちはこのないだ初めてプールに行きましたよ。  
**森山** そうそう楽しかったね！だけどもこれはまだまだ序の口やね(笑)。

でも車椅子席をとっておいのに2日前に体調崩したんですよ。救急車を呼んで到着を待ってる間に、あっ野球だ！って思い出して。急いでドームに問い合わせの電話をしたという…。博打ですよ！(笑)  
**森山** みんなの「あるある」かもね。でも予約しちゃうっていうね！くるちゃんちはなんでも来いって感じやと思ってるんだけど登山は？  
**澤津** 登山はですね。くるみを抱っこして登らないといけないのかな？とか思ったりして。  
**森山** 抱っこはきついかもね。  
**澤津** もちろん抱っこはお父さんが、ですよ。私は呼吸器とか吸引機とか持っていく方です。  
**森山** 荷物もあるからね。あっ、そういえば来年2月にスキーに行こうと思ってるんですけど、みなさんいかがですか？ニコちゃんは実は法人化する前は毎年夏はキャンプ、冬はスキーに行ってる。  
**田邊** 呼吸器つけてても大丈夫なんですか？  
**森山** もちろん大丈夫！  
**田邊** キャンプのひとつの欠点は、どうしても交通の便が悪いじゃないですか。何かあった時に…。  
**森山** ニコちゃんで行くときは、必ずお医者さんが一緒に行ってくれてたから！  
**澤津** あー！そういうことですね！  
**梶原** 是非やってみてください！  
**森山** やろうとは思ってるよ！思ってるは！お医者さんは今でも誘ったらついてきてくれる人はいるけど、今はニコちゃんに時間が…という言い訳させてくださ



平成 27 年度の事業

- 8月 アッタライナ workshop  
ニーズ調査を兼ねた理想づくりワークショップ。
- 12月 イッタモンガチ展  
障がいの有無にかかわらず時間共有することを具体化。
- 3月 ケアコミュニティハウスプロジェクト展  
ハレとケ  
ニコちゃんの考えている場のコンセプトをあつめた展示。

診療所	相談支援
カフェ	ショートステイ
アパート (ひとり暮らし)	ダイアクティビティ
就労体験	訪問看護・訪問介護



昨年度はケアコミュニティハウスプロジェクトとして、イベントを開催しました。これまで考え続けてきたものを世の中にお伝えする1年となりました。  
 難病の子どもと家族が普通に社会生活を営むには、多くの人の関わりと制度と地域の理解が必要です。このケアコミュニティハウスは、地域連携の拠点として、難病の子どもと家族を支援し、さらに社会と繋がる大切な場づくりを行うために必要不可欠なものだと考えています。拠点は人生をトータルコーディネートできる場

であることが大切です。機能はそれぞれが、密接に関係し絡み合って成り立つものです。本人家族の思いや不安などの心理的な関わりや本人の身体に関する必要な関わりはもとより、総合病院や地域との連携、人材育成、福祉サービス、心を豊かにするための非日常的な余暇活動や文化芸術に触れる活動など、様々な関わり方が円滑なつながりを保ちつことを基本としています。そして、本人家族と対話し、生活の中にあるあらゆる物事をトータルコーディネートしていくことが大切だと考えています。

ケアコミュニティハウス構想



い！(笑)

梶原 今は時間なさそうですね。やりたいことがいっぱいあるんですね。やりたいたいことがいっぱいあるんですね。(笑)

森山 そうそうやりたいことがね。登山やろ？キャンプやろ？スキーやろ？他にもいろいろあるのよね。そういう家族みんなで安心して楽しめることがたくさんできるよな。いいよね！ということができるよな！

言い残したアツタライイナは  
ごさいませんか？

森山 ケアコミュニケーションハウスを考えたにあたってニコちゃんでも親の立場から必要なことを考えてきたんだけど、自分たちが考えてきたこと以外にもいろんなアイデアがあると思うんだよね。それを少しずつ集めて、もちろん全部が実現できたらいいけど、なかなかそういうわけにはいかないと思うんですが、少しでもみんなの想いに近づけられたらいいなと思ってます。独りよがりにならないように、実際にそこを活用する人や親御さんたち、あるいは遊びに来てくれる地域の人の立場になって考えてみたいよね。ご要望いろいろ聞きますよ！私はひのきのお風呂がほしいなと思ってるんだけど…

きたらいいけど、なかなかそういうわけにはいかないと思うんですが、少しでもみんなの想いに近づけられたらいいなと思ってます。独りよがりにならないように、実際にそこを活用する人や親御さんたち、あるいは遊びに来てくれる地域の人の立場になって考えてみたいよね。ご要望いろいろ聞きますよ！私はひのきのお風呂がほしいなと思ってるんだけど…

田邊 ひのきのお風呂いいですね！

澤津 お風呂に入り毎日来るよね！

森山 さっきも言ったけど、その子のおうちの生活をケアコミュニケーションハウスでそのまま過ごすようなイメージで、考えてます。もちろんうちでも関わっている人が施設でも関わられるようにして、その子の生活を場所を変えても同じように過ごすことができるようにしなくちゃね。まあ、お母さんには敵わんけどね。セカンドホームプロジェクトでやってみて、できるって確認して！

澤津 すごく画期的ですね。やっぱり送迎が一番希望したいところかな。送迎を一度体験すると、なんて素敵なんだろうって。

田邊 うちも送迎はありがたいです。出かける準備ってたくさんあるし、車で送り迎えするのってけっこう大変なんですね。梶原 たいしがもう少し大きくなったら必要になるでしょうね。

澤津 しかも男の子って女の子よりうんと大きくなりますよね。今体重は何キロですか？

梶原 今9キロかな。

田邊 10キロ超えたらさらにドシンときますよ。

澤津 それに体重はあんまり変わらなくても身長が伸びたら抱えにくくなるしね。

田邊 家から出るのってほんと一苦労ですね。

澤津 そうよね。ほんと大きな問題だね。

森山 気軽に来れるって大事よね。

田邊 それだったら必要な物がある程度置いておけたらいいですね。ベッド周りの物がすべてそろっているとか。第2の家みたいな感じになるといいと思います。着替えだけ持っていけばいいとか最高ですね。

森山 タオル、吸引機、酸素ボンベ、チューブ、ガーゼ、薬；他にもたくさんあるやろうけど、物だけでバッグ4、5つになるよね。

澤津 ロッカーがあるといいんじゃない？

森山 そうね！マイロッカー！

田邊 それいいですね！あと、セカンドホームプロジェクトのときみたいに、テレビ電話とか、写メとか送ってくれると安心ですね。

森山 顔を見れた方が楽しんでるな、とか伝わるもんね。

田邊 やりたいことが多くてスタッフさんがたくさん必要になりますね。

森山 みなさんにもご協力してもらわれないかな？ あやねちゃんのところはお母さんが看護師さんだから頼りにしてますからね！みんな子ども連れてきて、うちで働くっていう、ね。

今年のプロジェクト



▲ニコゼミ 2016  
最小で最大のコミュニケーションに出逢う!!!  
▶身体的にバラエティあふれるひとたちの演劇公演  
BUNNA 横浜・大阪公演

昨年に引き続き BUNNA を横浜と大阪で公演することが決定しました。  
また、重い病気や障がいのある人との関わり方をまなぶ「ニコゼミ 2016」も始まっております。  
ご興味のある方は、ホームページ、facebook をご覧ください。



澤津 いいね！私も仕事したい！っていつも思ってたから、そんな働き方ができたら嬉しいな！

田邊 安心して仕事ができるって理想的ですよ！仕事なんて絶対できないって思ってますもん。

森山 なんて!? あきらめないことは大事よ。演劇とかでも思うけど、「演劇は自分にはできるはずないから関係ないって思ってた」って言う子がいたけど、できてるやん！って話ですよ。それって、演劇以外でも同じことだと思うんよね。とにかく最初からあきらめないでほしい！やりたいな！って口に出してたら「あれ？できちゃった」みたいなことはいっぱいあるんやけん！

田邊 ニコちゃんのスタッフになるなんて全く思いついてなかったです。

森山 私たちの中ではすっごく想定されている話よ。お給料はきつとそんなに高くないけど…(笑)。楽しい職場間違いなし！みなさん頼りにしてますからね！



2015 6/27~6/28

身体的にバラエティあふれるひとたちの演劇公演 BUNNA

【keywords】 損保ジャパン日本興亜ちきゅう倶楽部 Heart&Arts プログラム / 倉品淳子氏 (劇団山の手事情社) / ほんプラザホール

昨年はBUNNAの公演があり、念願の舞台公演を行うことができました。ご好評をいただき、今年も10月に横浜・大阪公演をさせていただきます。毎年恒例となりました「少しずつ自由になるために」も舞台を少しずつ変えてお

01 すっごい演劇アートプロジェクト



2015 10/2

少しずつ自由になるために #06

【keywords】 岩下徹氏 (即興ダンス・山海塾舞踏手) 新井理恵子氏 (ちんどん鈴乃屋) 福岡市立今津特別支援学校

- 2015,2016 4/1~3/31 調査・研究 セカンドホームプロジェクト  
【keywords】 日本財団 / アムナス博多訪問看護ステーション / 制度利用に向けた小児レスパイトのモデルケースの取得
- 2015 4/13 啓発 共働提案サポートセミナー  
【keywords】 福岡市共働事業提案制度
- 2015 6/17 啓発 北九州市立大学講義  
【keywords】 北九州市立大学
- 2015 6/27~6/28 すっごい演劇アートプロジェクト 身体的にバラエティあふれるひとたちの演劇公演 BUNNA  
【keywords】 損保ジャパン日本興亜ちきゅう倶楽部 Heart&Arts プログラム / 倉品淳子氏 (劇団山の手事情社) / ほんプラザホール
- 2015 7/13 啓発 福岡市立馬出小学校講演  
【keywords】 高口和樹氏 / 福岡市立馬出小学校
- 2015 7/15 啓発 FUKUOKA NEXT (市政だより) 掲載  
【keywords】 福岡市市政だより
- 2015 7/16 啓発 医療福祉専門学校緑生館講義  
【keywords】 医療福祉専門学校緑生館
- 2015 8/3 調査・研究 関西施設視察  
【keywords】 淀川キリスト教病院 / 大阪発達総合療育センター
- 2015 8/18 よかプロジェクト 夏のあいさつはがき  
【keywords】 田川市美術館
- 2015 8/29,9/5 ケアコミュニティハウスプロジェクト アッタライイナ workshop  
【keywords】 みずほ社会貢献ファンド / アクロス福岡交流ギャラリー
- 2015 9/27 啓発 第12回「医療と教育」実践セミナー講演「今を生きる息子とともに」  
【keywords】 聖マリア学院大学 / 福岡の医療と教育を考える会
- 2015 9/30 啓発 あずみんノート掲載  
【keywords】 NPO 法人九州コミュニティ研究所 / あずみん
- 2015 10/2 すっごい演劇アートプロジェクト 少しずつ自由になるために #06  
【keywords】 岩下徹氏 (即興ダンス・山海塾舞踏手) / 新井理恵子氏 (ちんどん鈴乃屋) / 福岡市立今津特別支援学校
- 2015 11/15 ケアコミュニティハウスプロジェクト イッタモンガチ展  
【keywords】 みずほ社会貢献ファンド / ソラリアプラザ
- 2015 11/16 啓発 平成27年度福岡市課長級職員研修「共働を理解する」  
【keywords】 福岡市役所
- 2015 11/17 啓発 福岡市立今津特別支援学校校内職員人権研修「自立について」  
【keywords】 福岡市立今津特別支援学校
- 2015 11/18 啓発 福岡市訪問教育研究会講話  
【keywords】 福岡市訪問教育研究会 / 福岡市立南福岡特別支援学校
- 2015 12/20,23 よかプロジェクト ニコサンタ 2015  
【keywords】 クリスマス
- 2016 1/18~1/20 調査・研究 関西施設視察  
【keywords】 障害者支援施設 青葉園 / 障がい児・者 総合福祉施設ノースサイド / 社会福祉法人いぶき福祉会 特定非営利活動法人 ふれ愛名古屋 / TSURUMI こどもホスピス
- 2016 2/8 啓発 先輩保護者の話  
【keywords】 あいあいセンターにこここ園保護者会
- 2016 2/13~2/14 よかプロジェクト 雪山で HIPPO 体験会  
【keywords】 水陸両用車椅子 HIPPOcampe / Dual ski Japan
- 2016 3/13 ケアコミュニティハウスプロジェクト ケアコミュニティハウスプロジェクト展ハレとケ  
【keywords】 日本財団 / アクロス福岡交流ギャラリー

# 03

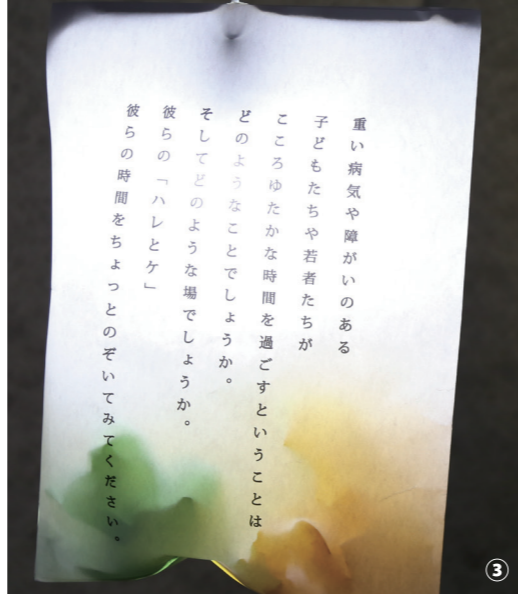
## ケアコミュニティハウスプロジェクト

昨年は、ケアコミュニティハウスについて私たちの考えていることを世の中に発信する多くの機会をいただきました。これから具体的に進めていくための大きな一歩になったと思います。

2015 8/29,9/5  
アッタライナ workshop …①  
[keywords] みずほ社会貢献ファンド  
アクロス福岡交流ギャラリー

2015 11/15  
イッタモンガチ展 …②  
[keywords] ソラリアプラザ / みずほ社会貢献ファンド

2016 3/13  
ケアコミュニティハウスプロジェクト展ハレとケ  
[keywords] 日本財団 / アクロス福岡交流ギャラリー …③



2015 12/20,23  
ニコサンタ 2015  
[keywords] クリスマス

2015 4/13  
共働提案サポートセミナー  
[keywords] 福岡市共働事業提案制度

2015 6/17  
北九州市立大学講義  
[keywords] 北九州市立大学

2015 7/13  
福岡市立馬出小学校講演  
[keywords] 高口和樹氏 / 福岡市立馬出小学校

2015 7/15  
FUKUOKA NEXT (市政だより) 掲載  
[keywords] 福岡市市政だより

2015 7/16  
医療福祉専門学校緑生館講義  
[keywords] 医療福祉専門学校緑生館

2015 9/30  
あすみんノート掲載  
[keywords] NPO 法人九州コミュニティ研究所 / あすみん

2015 11/16  
平成 27 年度福岡市課長級職員研修「共働を理解する」  
[keywords] 福岡市役所

2015 11/17  
福岡市立今津特別支援学校校内職員人権研修「自立について」  
[keywords] 福岡市立今津特別支援学校

2015 11/18  
福岡市訪問教育研究会講話  
[keywords] 福岡市訪問教育研究会 / 福岡市立南福岡特別支援学校

2016 2/8  
先輩保護者の話  
[keywords] あいあいセンターにここ園保護者会



2015 9/27  
第 12 回「医療と教育」実践セミナー講演  
「今を生きる息子とともに」  
[keywords] 聖マリア学院大学 / 福岡の医療と教育を考える会

# 02 よかプロジェクト

昨年は大きな発見がありました。  
水陸両用車椅子というのがあるのをご存知ですか？  
雪山でも使えるという噂を聞き早速検証です。  
これがあればオーロラを見に北欧にでも行けるのでしょね。夢が膨らみます。

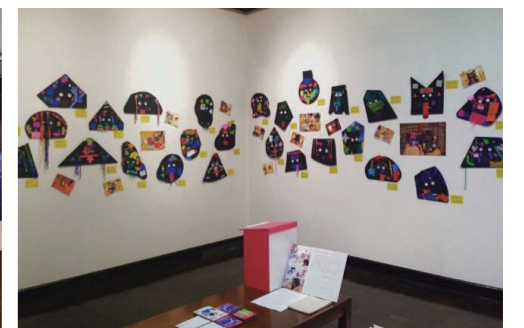


2016 2/13~2/14  
雪山で HIPPO 体験会  
[keywords] 水陸両用車椅子 HIPPOcampe/Dual ski Japan

# 04 啓発

いろいろなところでお話しさせていただきありがとうございました。笑える話、泣きそうになる話、さまざまな話がありました。学生さんを対象としたものや、先輩お母さんとしてお話しさせていただいたり、学校の先生や市役所の職員さんを対象としたものもありました。

2015 8/18  
夏のあいさつはがき  
[keywords] 田川市美術館



# ご支援のお願い

認定 NPO 法人を継続していくためには、これからも計 100 名以上の方から、毎年おひとりにつき 1 年間の合計額が 3000 円以上のご寄付が必要となっております。

今年から「かざして募金」をご利用いただけるようになりました。クレジットカードなどのご寄付につきましては「かざして募金」をご利用ください。現金・お振込みでのご寄付

つきましては下記のお問い合わせ先にご連絡をいただくか、ホームページをご参照ください。

ケアコミュニティハウスプロジェクトをはじめとする当団体の活動にご賛同、協力いただき、あらゆる人がこころ豊かに暮らせる社会づくりのために是非お力添えくださいますようお願いいたします。



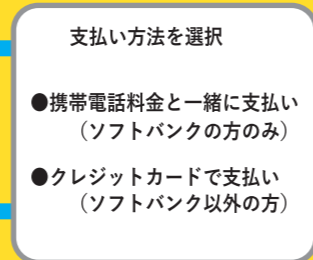
## “かざして募金”からのご支援

チラシやポスターなどの画像にスマートフォンをかざすだけで、継続的に寄付ができるサービスです。さらに専用アプリ内での支援団体リストや、参加団体のウェブサイトからも寄付ができます。ソフトバンクの iPhone、スマートフォンをご利用のお客さまは、募金を携帯電話利用料と一緒に支払っていただけます。



こちらの画像にかざしてください。

ポスター・  
チラシにかざす



サイトへアクセス



※上記の認定 NPO 法人の 100 名のカウントのために必ず「領収書を発行する」をお選びください。

お問い合わせ

認定NPO法人 二つちゃんの会

〒address 福岡市城南区樋井川6-37-8

☎tel 092-863-5903 ✉e-mail info@nicochan.jp

☎fax 092-862-0597 🌐web http://www.nicochan.jp

# 05 調査・研究



2015 4/1 ~ 2016 3/31

## セカンドホームプロジェクト

[keywords] 日本財団/アムナス博多訪問看護ステーション/  
制度利用に向けた小児レスパイトのモデルケースの取得

宿泊の実施日	回数	期間
	1回目	2015/6/15 ~ 6/17
	2回目	2015/7/23 ~ 7/25
	3回目	2015/8/7 ~ 8/8
	4回目	2015/9/21 ~ 9/22
	5回目	2015/10/6 ~ 10/8

2015 8/3

## 関西施設視察

[keywords] 淀川キリスト教病院 / 大阪発達総合療育センター

2016 1/18~1/20

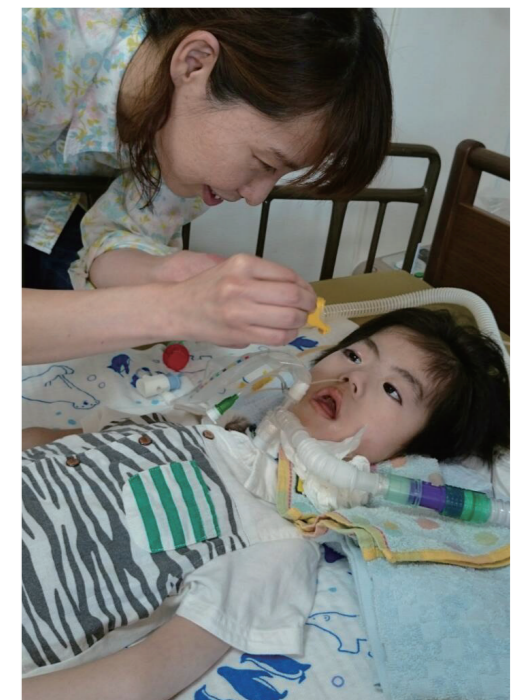
## 関西施設視察

[keywords] 障害者支援施設 青葉園 / 障がい児・者 総合福祉施設ノーサイド  
社会福祉法人いぶき福祉会 / 特定非営利活動法人 ふれ愛名古屋  
TSURUMI こどもホスピス

# 06 障がい福祉サービス

事業所名 ニこちゃんくらしサポート

日々ヘルパーさんとしてもたくさんの方々とかわらせていただいております。福祉サービスの事業も5年目を迎えました。これからもご家庭での心地よい時間をご一緒させていただけたら幸いです。







nicochanism

No.03

2016年8月1日発行

発行・デザイン 認定NPO法人ニコちゃんの会



designed by nicochan